

GMO CLOUD

証券コード 3788

2019年 第3四半期
決算説明資料

免責事項

- 本資料の内容は、作成日時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者がその他の目的で公開または利用することはできません。

1. GMOクラウド会社概要
2. 2019年 第3四半期決算概要
3. 事業概況
 - クラウド・ホスティング事業
 - セキュリティ事業
 - ソリューション事業

1. GMOクラウド会社概要

GMOクラウド会社概要

会社名	GMOクラウド株式会社
証券コード	3788（東証一部）
設立	1997年 5 月 株式会社アイル
事業内容	総合インターネットサービスの提供
主力事業	クラウド・ホスティング事業（クラウド、ホスティングサービス） セキュリティ事業（電子認証、企業向けID・パスワード管理サービス） ソリューション事業（IoT関連、O2Oアプリ、電子契約、ネットワークエン ジン、車両遠隔診断）
親会社	GMOインターネット株式会社（東証一部：9449）被持株比率51.8%※ * 2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
子会社	15社 連結13社(国内6社、海外7社) 非連結2社（2019年9月末現在）
従業員数	連結 931名（2019年9月末現在）

※当第2四半期決算説明資料より、被持株比率は自己株式を控除して算定しております。

GMOクラウドの事業領域

● インターネットの安全を支える

クラウド・ホスティング事業

- 安全なクラウド基盤の提供

セキュリティ事業

- 電子認証により、通信（取引）を守る
- ID管理により、利用者の入り口を守る

● 企業のクラウド利用を支える・便利にする

ソリューション事業

- 「IoT関連」「O2Oアプリ」「電子契約」
「ネットワークエンジン」「車両遠隔診断」

2. 2019年 第3 四半期決算概要

セグメント別トピックス ハイライト

クラウド・ホスティング事業

- NHN JAPAN社より一部ホスティングサービスを分割承継

セキュリティ事業

- 「GMOオンライン本人確認サービスeKYC」提供開始
- 安全なIoTデバイスのスピーディな開発をフルサポートする「IoT Developer Program」をグローバルで提供開始

ソリューション事業

- 「hakaru.ai byGMO」が「2019年度グッドデザイン賞」を受賞
- 「GMO電子契約サービスAgree」が「Salesforce」および「kintone」向けサービスとの連携機能を追加

2019年 第3四半期連結決算概要[累計比較]

単位 百万円	2018年Q3実績	2019年Q3実績	前年同期比
売上高	9,454	9,675	+2.3%
営業利益	1,076	1,071	△0.5%
親会社帰属利益	826	920	+11.3%
EBITDA※	1,172	1,157	△1.3%

※EBITDA: 営業利益 + 販売管理費償却費 + のれん償却費

押し上げ要因

- セキュリティ事業の売上が堅調に推移したことにより増収
- クラウド・ホスティング事業のコスト最適化による原価削減効果
- 前年Q3は、減損損失が約72百万円発生

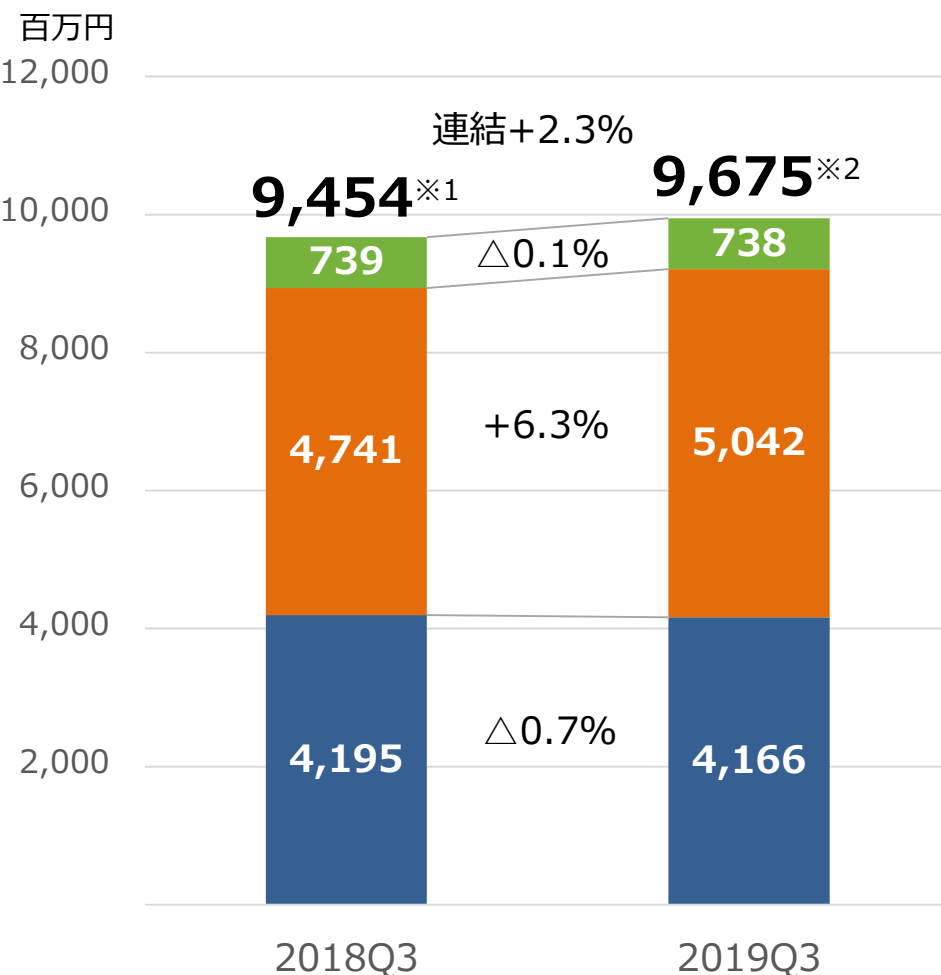
押し下げ要因

- 為替の影響によりセキュリティ事業の売上高にマイナス影響
- 新規事業関連費用（人件費/業務委託費/ソフトウェア費）の増加

2019年 第3四半期連結決算概要[累計比較]

— セグメント別売上高（セグメント間取引控除前） —

■ クラウド・ホスティング ■ セキュリティ ■ ソリューション



※1 調整額としてセグメント間取引消去 222百万円

※2 調整額としてセグメント間取引消去 272百万円

クラウド・ホスティング事業

- 新規サービス開始により売上高増加に貢献するものの、従来のホスティングサービスの減少により減収

セキュリティ事業

- 国内および海外市場ともに堅調に成長が継続し増収
- ポンド安の影響をうけるものの、国内及び海外市場ともに堅調に成長

ソリューション事業

- 電子契約サービスAgreeが売上高増加となったもののゲーム向けネットワークエンジン（Photon）顧客数減少により減収

2019年 第3四半期連結決算概要[累計比較]

セグメント別営業利益 (セグメント間取引控除前)

■ クラウド・ホスティング ■ セキュリティ ■ ソリューション

百万円

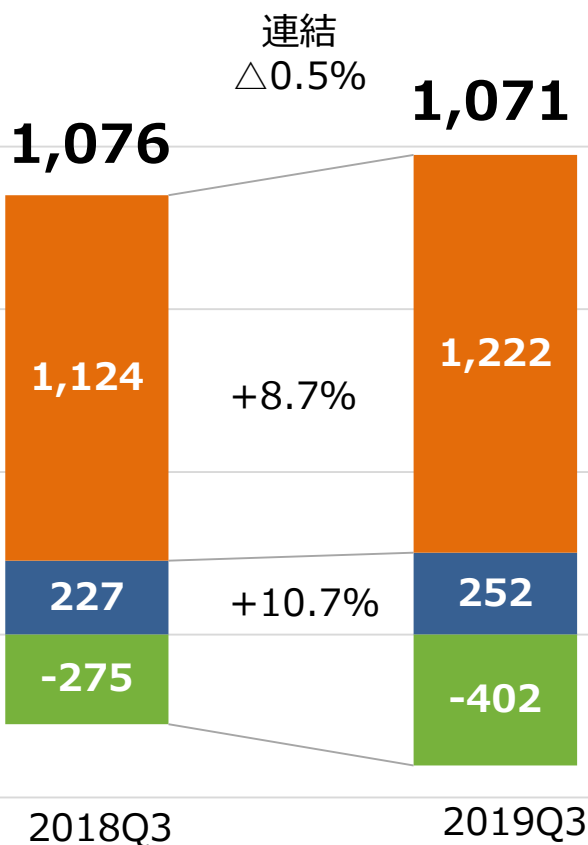
2,000

1,500

1,000

500

-500



クラウド・ホスティング事業

- サービス統廃合によるコスト最適化の継続および販管費の抑制により増益

セキュリティ事業

- 売上成長により新規投資費用（人件費/業務委託費/ソフトウェア費）や売上原価の増加を吸収

ソリューション事業

- ゲーム向けネットワークエンジン（Photon）減収の影響およびカークラウド事業等の新規投資にかかる費用増加で営業利益減少

2019年 第3四半期連結決算概要[四半期比較]

- 売上高は主に為替の影響により2Q比で減少
- 営業利益は減価償却費の増加により2Q比で減少

単位： 百万円	2018年 3Q	2018年 4Q	2019年 1Q	2019年 2Q	2019年 3Q	前四半期比
売上高	3,213	3,284	3,222	3,239	3,212	△0.8%
営業利益	375	331	395	351	324	△7.7%
経常利益	427	325	396	357	338	△5.2%
親会社 帰属利益	301	130	326	306	287	△6.2%

2019年 第3四半期セグメント情報 [四半期比較]

- セキュリティ事業は、国内および欧州においても販売を伸ばし増収の一方、減価償却費および業務委託費の増加により減益
- ソリューション事業は、ゲーム向けネットワークエンジン（Photon）の売上減少と新規サービスによる費用増加（人件費／ソフトウェア費）により減収減益

売上高				営業利益			
セグメント	2018年 3Q	2019年 3Q	前年 同期比	セグメント	2018年 3Q	2019年 3Q	前年 同期比
クラウド・ホスティング	1,392	1,403	+ 0.8%	クラウド・ホスティング	71	78	+ 8.6%
セキュリティ	1,650	1,658	+ 0.4%	セキュリティ	391	381	△2.5%
ソリューション	246	237	△3.5%	ソリューション	△87	△135	-
消去又は 全社	△76	△86	-	消去又は 全社	0	0	-
連結計	3,213	3,212	△0.0%	連結計	375	324	△13.6%

連結貸借対照表

単位：百万円	2018年12月末	2019年9月末	増減率
流動資産	6,505	6,514	+0.1%
(現金預金)	4,356	4,264	△0.2%
(売掛金)	1,439	1,365	△5.2%
固定資産	2,618	2,867	+9.5%
(ソフトウェア)	677	981	+45.0%
(のれん)	-	-	-
(投資有価証券)	504	536	+6.3%
(関係会社株式)	57	57	-
資産合計	9,124	9,382	+2.8%
負債	3,291	3,199	△2.8%
(前受金)	1,528	1,704	+11.5%
(借入＋リース債務)	385	302	△21.7%
純資産	5,832	6,182	+6.0%
(株主資本)	5,609	6,051	+7.9%
(その他包括利益累計)	195	106	△45.3%
(非支配株主持分)	27	24	△9.8%
負債・純資産合計	9,124	9,382	+2.8%

主な資産増減要因

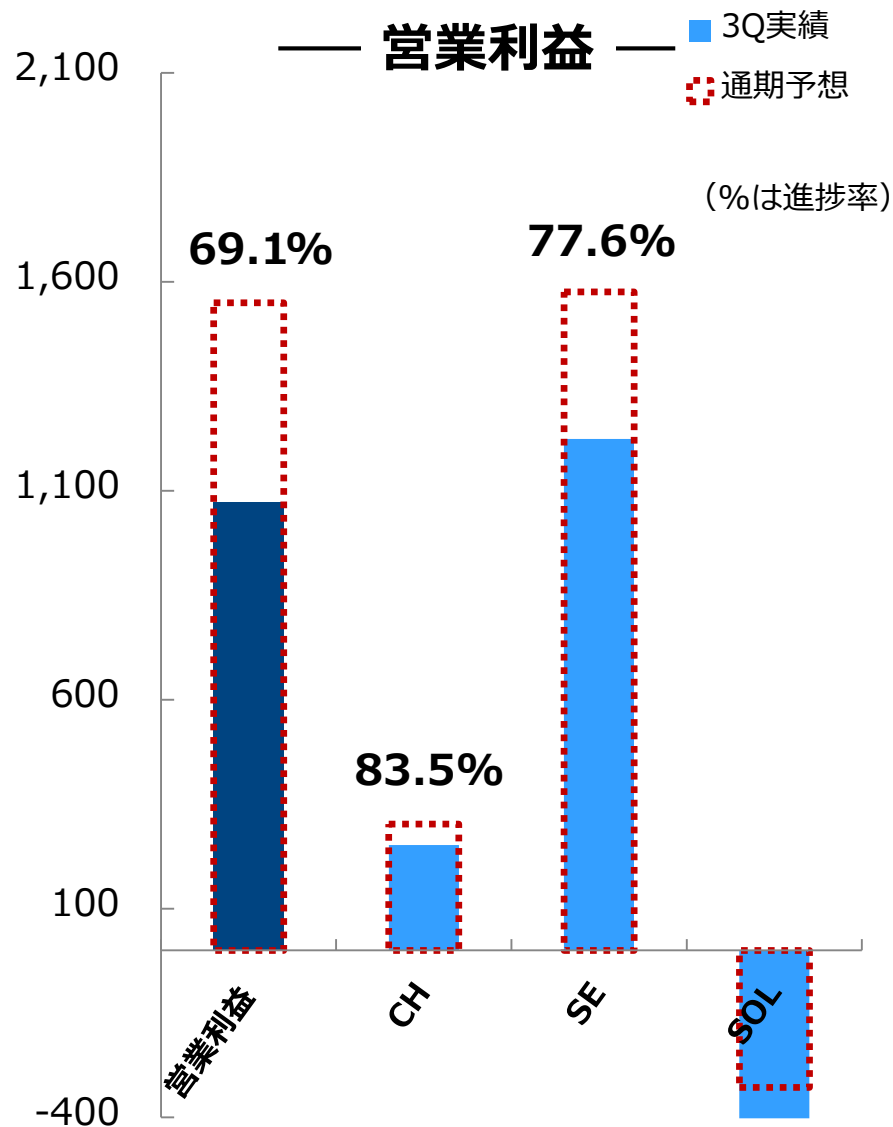
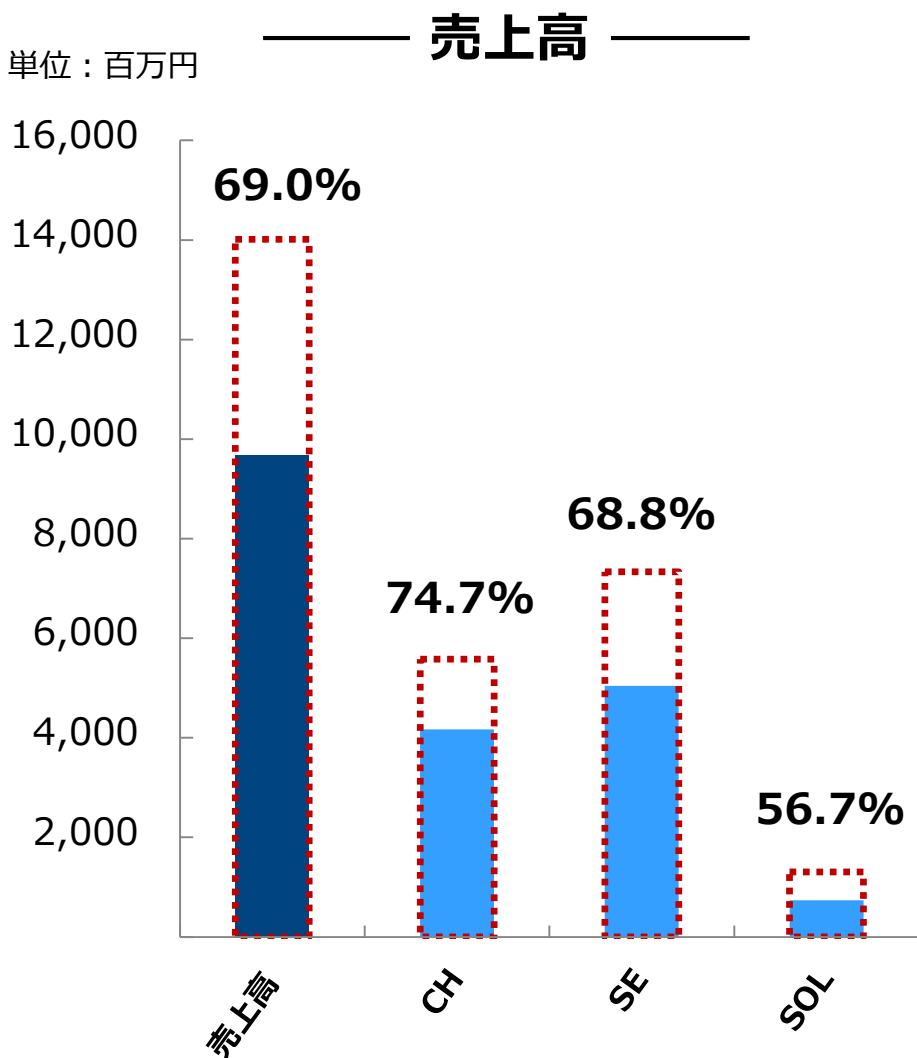
- 現金預金
△92百万円
- ソフトウェア
+304百万円
- 売掛金
△74百万円

主な負債増減要因

- 買掛金
△85百万円
- 前受金
+176百万円
- 賞与引当金
△52百万円

2019年 業績予実比較

単位：百万円



CH:クラウド・ホスティング事業 SE:セキュリティ事業 SOL:ソリューション事業

2019年 通期業績予想

- IoT事業への新規事業投資の継続により費用増加を見込むが、セキュリティ事業続伸により増収増益を計画

単位:百万円	2018年12月期 (実績)	2019年12月期 (予想)	2018年比
売上高	12,738	14,015	+10.0%
営業利益	1,408	1,550	+10.0%
経常利益	1,490	1,550	+ 4.0%
親会社帰属利益	956	1,010	+ 5.6%
1株当たり 純利益(円)	83.04	87.68	-

2019年 通期業績予想〔セグメント別〕

- セキュリティ事業は大手顧客を中心に国内外で増収増益計画
- 引き続き、IoTインフラおよびIoTセキュリティ分野へ投資継続

売上高

単位： 百万円	2018年 12月期 (実績)	2019年 12月期 (予想)	2018年比
クラウド・ ホスティング	5,578	5,580	+0.0%
セキュリティ	6,408	7,332	+14.4%
ソリューション	1,033	1,303	+26.1%
消去又は 全社	△281	△ 200	—
連結計	12,738	14,015	+10.0%

営業利益

単位： 百万円	2018年 12月期 (実績)	2019年 12月期 (予想)	2018年比
クラウド・ ホスティング	301	302	+0.3%
セキュリティ	1,463	1,576	+7.7%
ソリューション	△364	△ 328	—
調整	+ 7	0	—
連結計	1,408	1,550	+10.0%

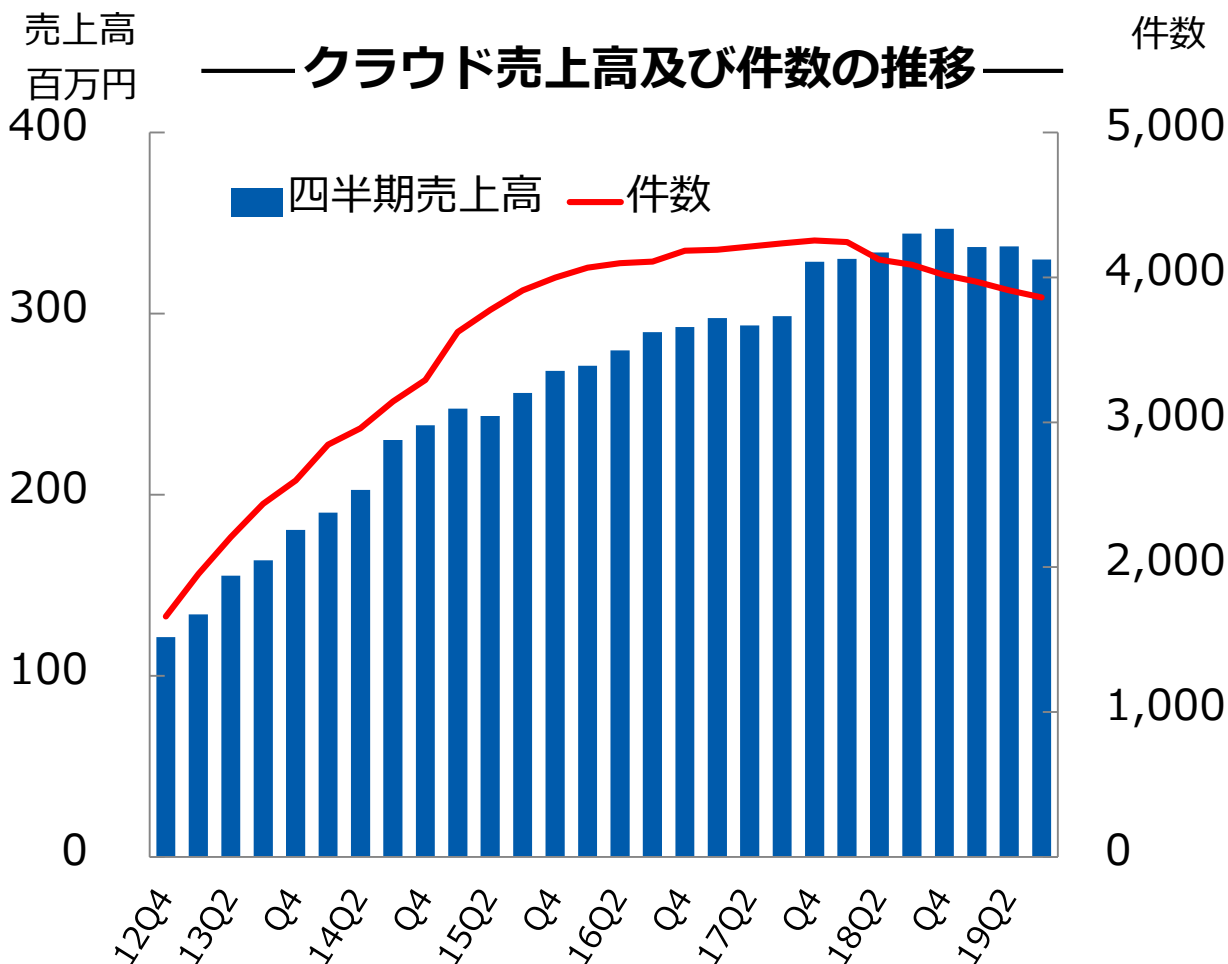
3. 事業概況

クラウド・ホスティング事業

安全なクラウド基盤の提供

クラウドサービス売上高と件数推移

統廃合により新規提供を終了した商材の影響で件数売上ともに減少



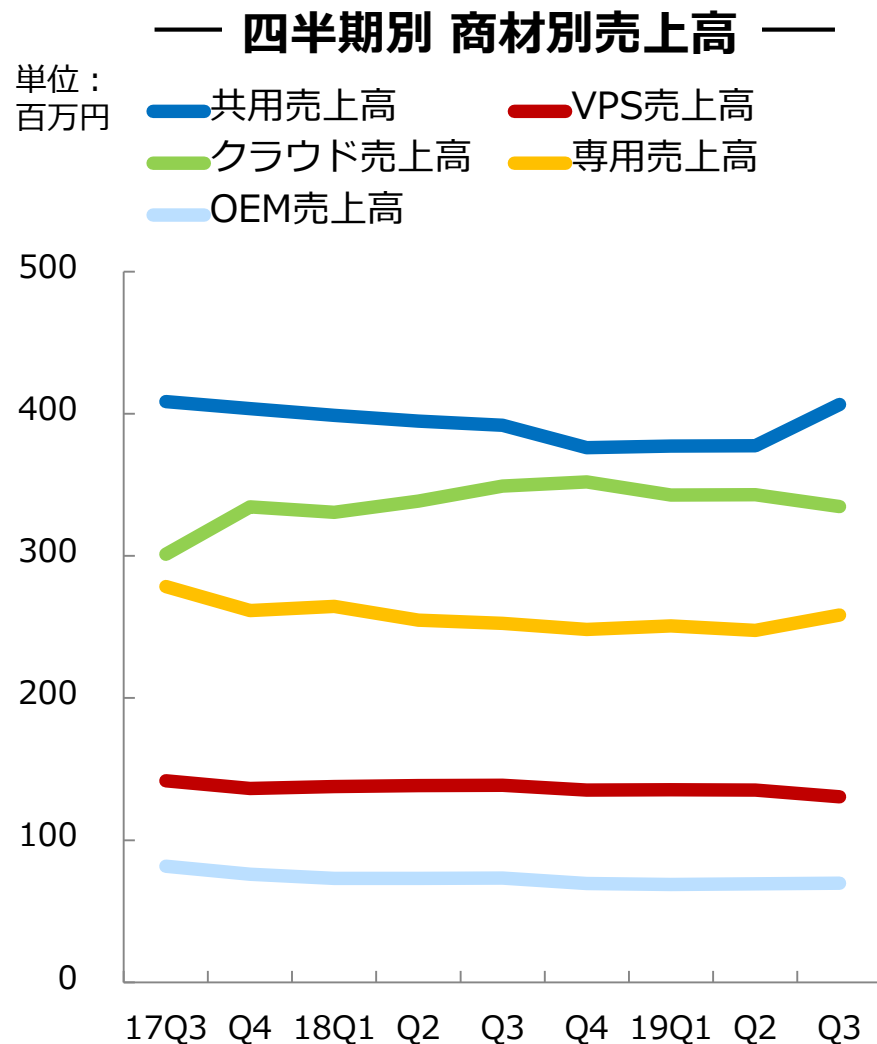
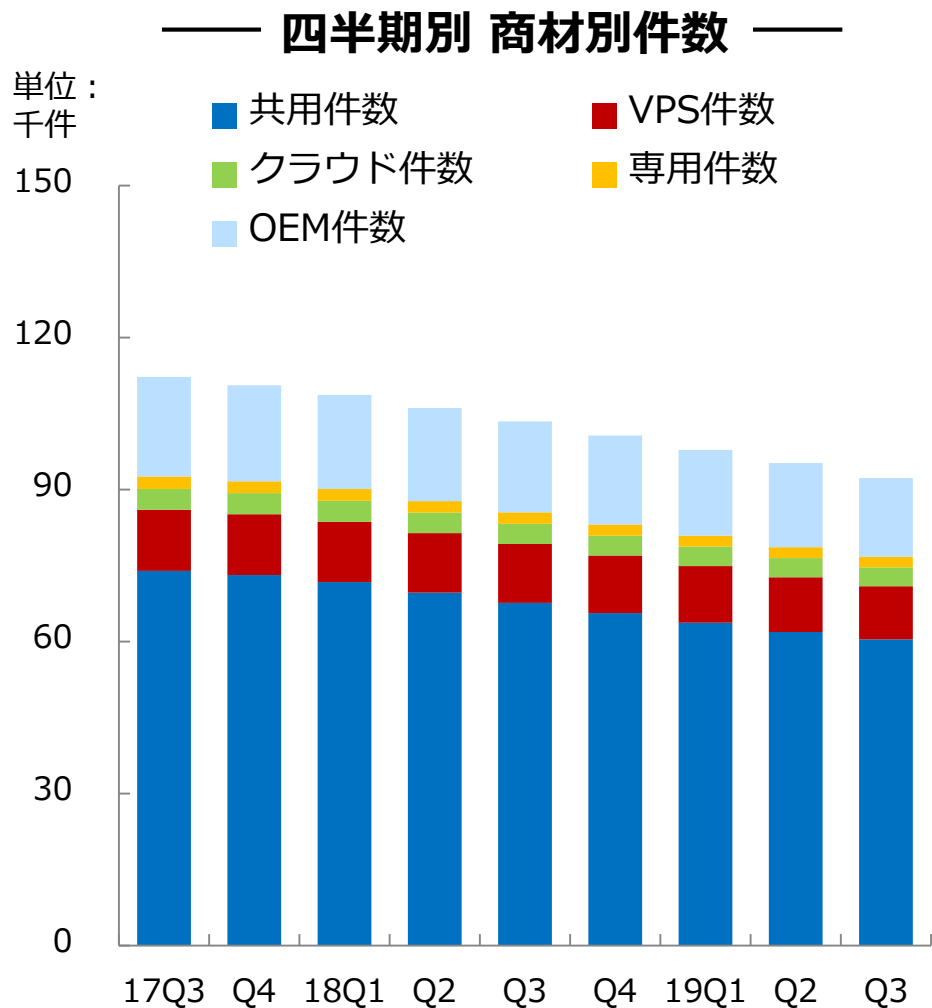
2019年第3四半期

売上高：329百万円

前年同期比：△0.4%

クラウド・ホスティング事業 商材別実績推移

提供サービスの統廃合継続。件数は減少したものの収益改善



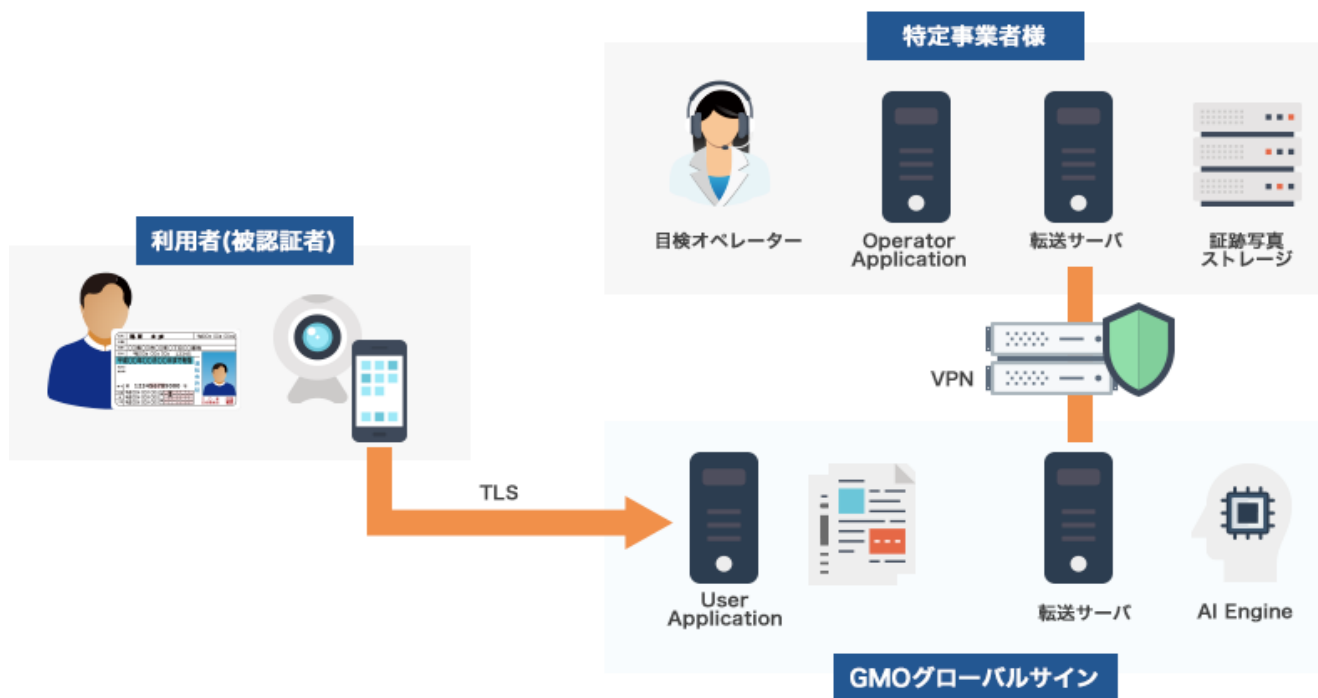
3. 事業概況

セキュリティ事業

電子認証により、通信（取引）を守る

「GMOオンライン本人確認サービス 顔認証eKYC」リリース

金融業界を中心にオンライン本人確認（eKYC）導入を支援
口座開設などの本人確認をオンラインで完結可能に



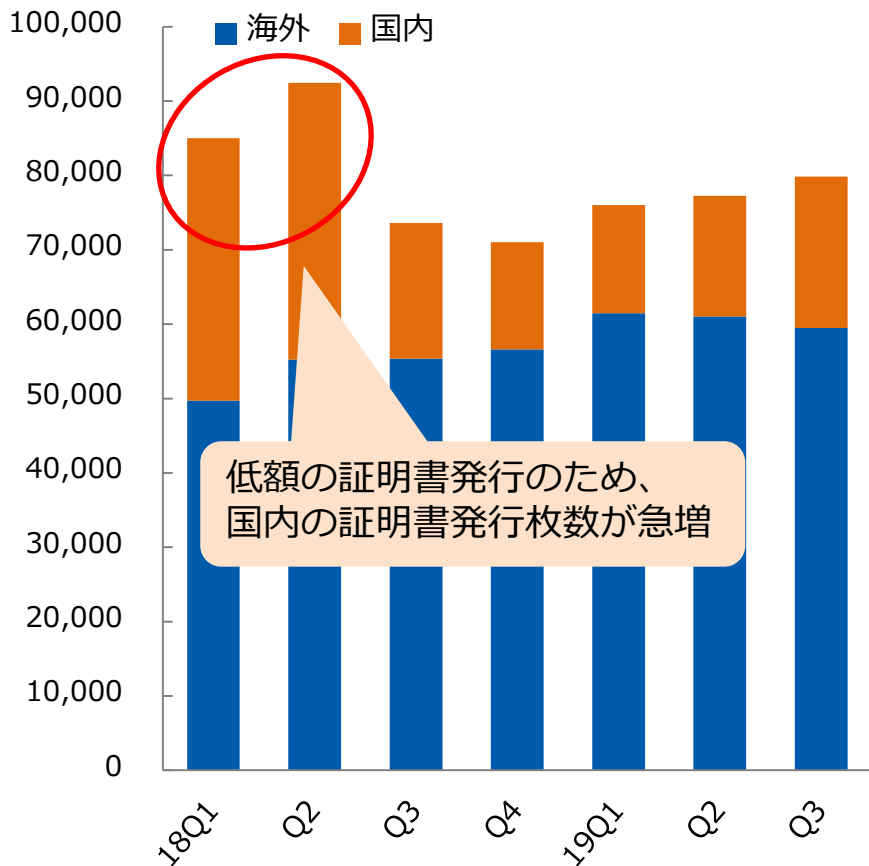
eKYCとは「electronic Know Your Customer」の略称で、銀行口座の開設、不動産の契約、古物商での取引に必要な本人確認をオンラインで行う仕組み。スマートフォンなどのカメラで本人確認書類と自分の顔を同時に撮影して送信するだけで、法律に則った本人確認が可能となる。これにより、郵送等の手間が軽減され、コスト削減やタイムラグによる機会損失の防止やサービス利用者による不正防止対策となるため、今後の需要の高まりが見込まれる。

【詳細URL】 https://ir.gmocloud.com/news/press/globalsign/190822_3002.html

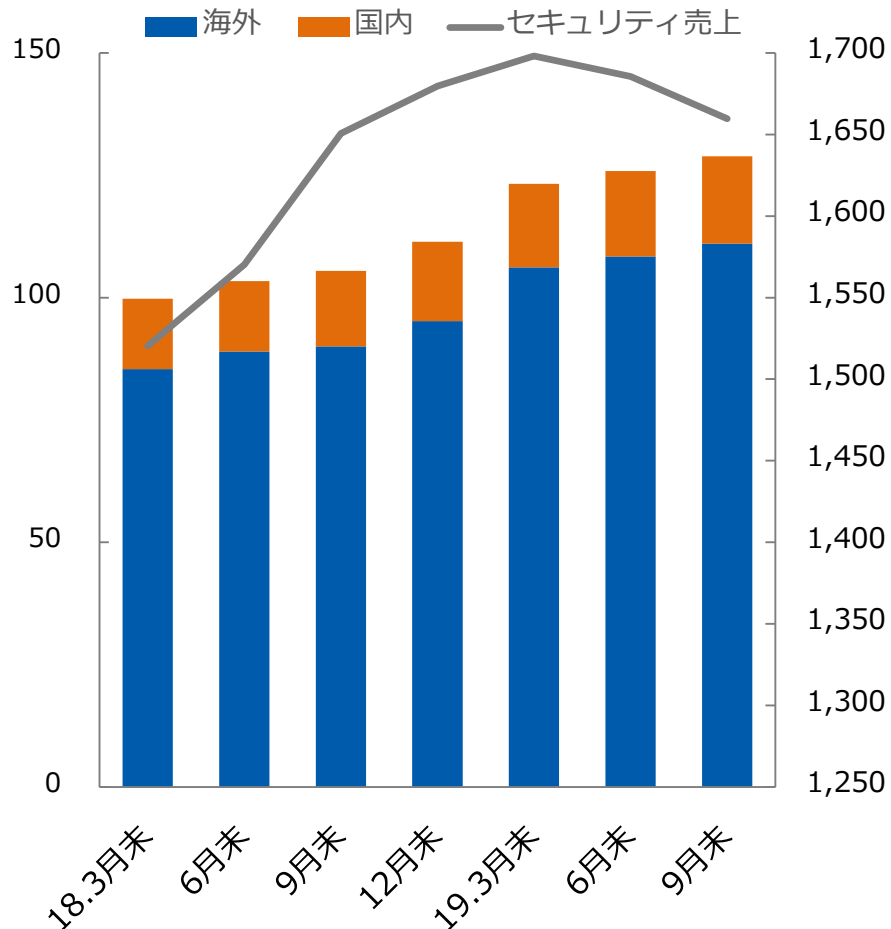
SSL証明書発行枚数

国内および欧州において堅調に取引量が増加

発行枚数 (枚) ——— 新規発行枚数※1 ———



発行枚数 (万枚) ——— 月末有効枚数※2 ——— 売上高 (百万円)



※1 枚数無制限契約及び毎月大量発行の枚数を調整した数値

※2 有効枚数とは、現在電子証明書の有効期限内であり実際に利用されているアクティブな枚数

3. 事業概況

ソリューション事業

プラットフォーム IoTソリューションサービスの提供

IoTの窓口 byGMO トピックス

「hakaru.ai byGMO」が 2019年度グッドデザイン賞*を受賞



GOOD DESIGN
AWARD 2019

審査委員による評価コメント

本サービスでは効率化の対象をメーター機器ではなく点検作業者に視点を切り替え、目視・手書き・データ入力という作業をスマホで撮るという行為で完結させることで、低コストでの業務効率化に成功している。



「hakaru.ai」は、製造業の生産・製造管理の現場やビルメンテナンス・ファシリティ管理の現場において、メーターの点検業務を行う作業や管理者向けに提供しているサービス。メーターをスマートフォンで撮影するだけで、値の読み取りから台帳記入まで自動で行うことができるため、大きな設備投資をすることなく、低コストで点検業務の効率化が実現可能。

*グッドデザイン賞とは、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動。

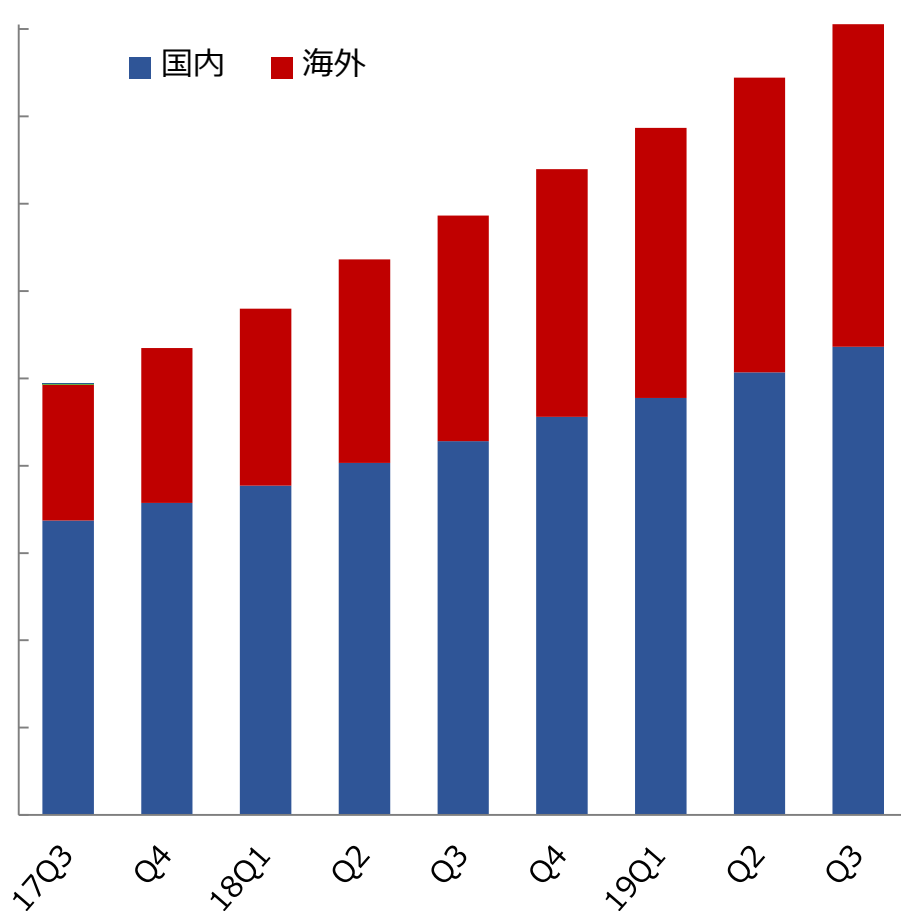
【詳細URL】 https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/191002_3010.html

月額の高機能プラン「Photon Quantum」を提供開始

— アカウント数推移 —

累計数(人)

■ 国内 ■ 海外



— トピックス —



TGDF 2019 (台湾)

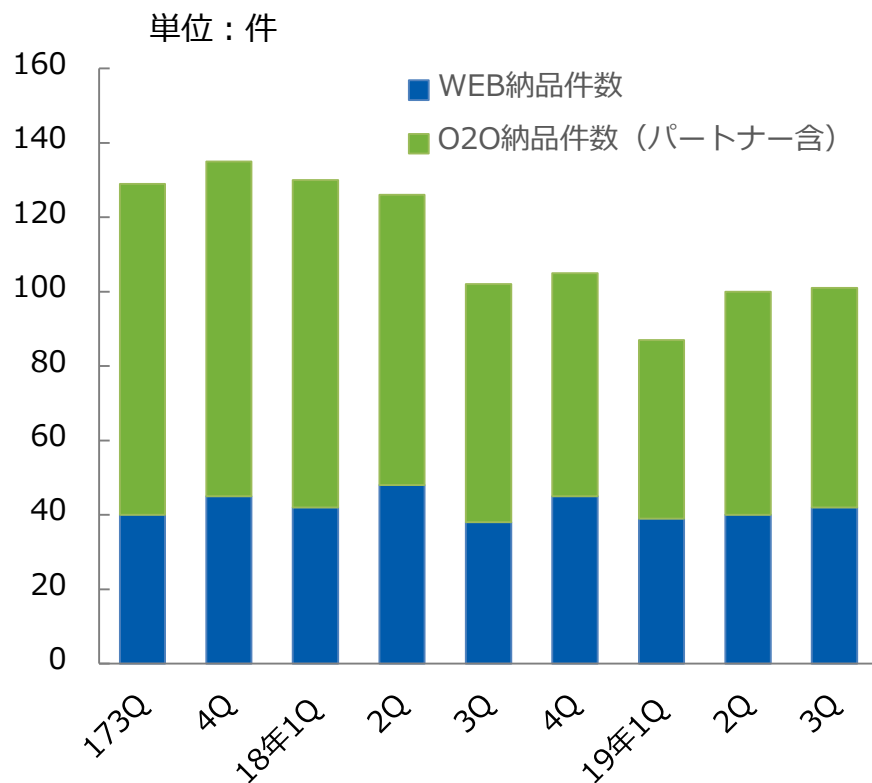


CEDEC 2019

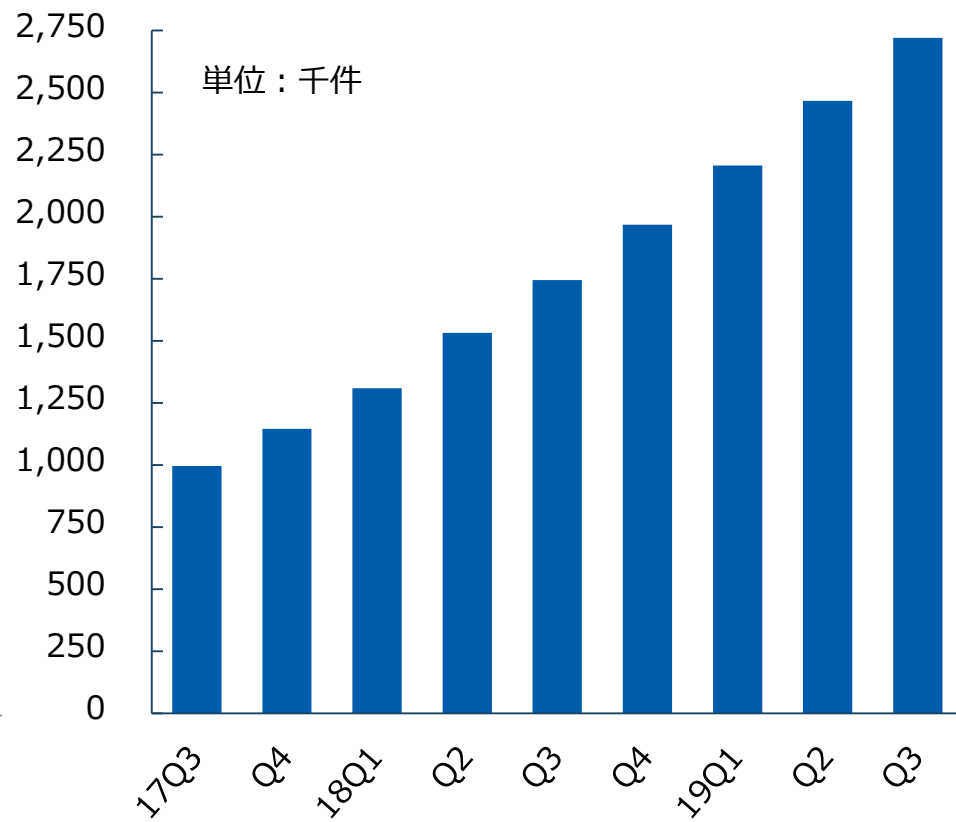
【詳細URL】 <https://www.photonengine.com/ja-JP/Photon>

営業の効率化により中・大型の案件数が増加

— 納品件数の推移 —



— 累計ダウンロード数の推移 —



※O2O: オンラインとオフラインの購買活動が連携し合う、またはオンラインでの活動が実店舗の購買に影響を及ぼすサービスのこと

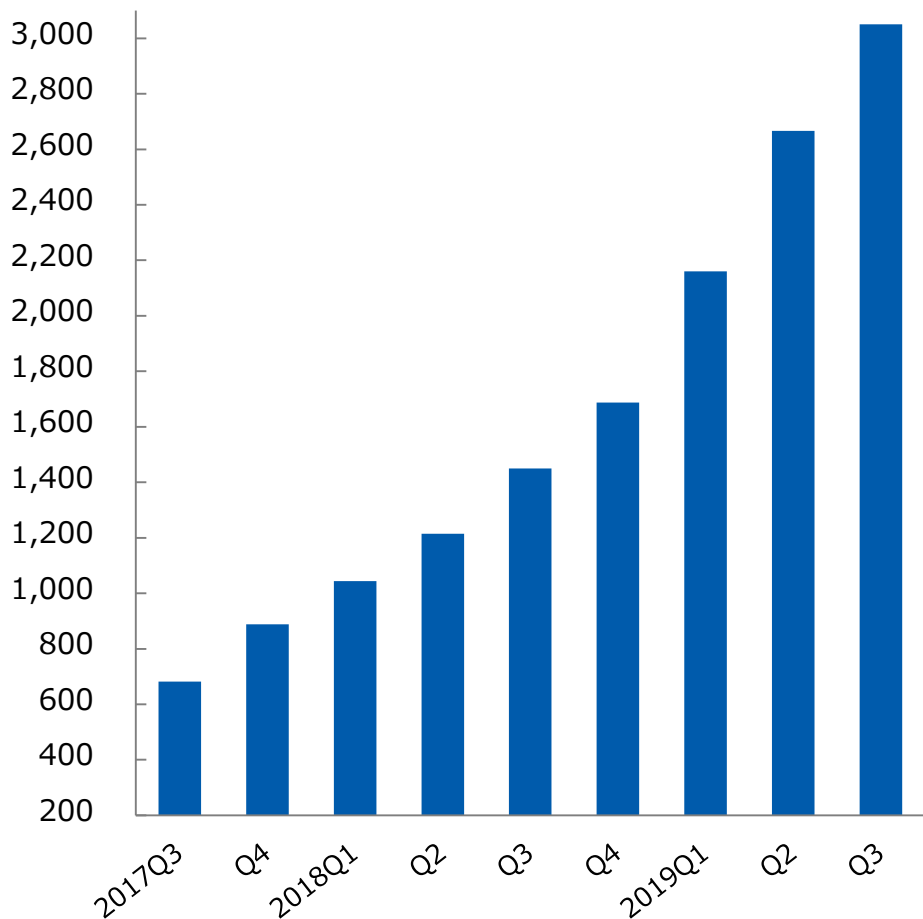
【詳細URL】 <https://gmo-app.jp>

締結数の多い大口契約を獲得し業績も好調に推移

— アカウント数推移 —

— トピックス —

累計数(件)



- 「Salesforce」向け管理サービスや「kintone」向け帳票出力サービスとの連携機能を追加。
各サービスで作成した帳票の取引先への送信・署名依頼、保管・管理をシームレスに行うことが可能に。

【詳細URL】 https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/190925_3008.html , https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/190827_3003.html

導入実績 3,000 案件超

※2019年9月末

導入事例



フィットネスクラブ
ティップネス

(株式会社ティップネス様)

活用例

- ・約2000人のインストラクターとの契約業務を一挙に電子化
- ・約20パターンの複雑な契約の作成・締結・管理業務の工数が激減
- ・契約の進捗もシステム上で確認。本部・店舗との情報共有も円滑化



(サン電子株式会社様)

活用例

- ・ワークフロー機能で、社内での契約書の回覧、承認にかかる時間を大幅に短縮
- ・今まで3人で行っていた契約業務が1人に
- ・契約書の郵送費用や印紙代などのコスト削減



【詳細URL】 <https://www.gmo-agree.com/customer-stories/tipness.html> , <https://www.gmo-agree.com/customer-stories/sundenshi.html>



GMOクラウドグループは
One GMO CLOUD へ

当資料に関するお問合せ先

GMOクラウド株式会社 社長室 IR担当 中、松下

TEL : 03-6415-6100

E-mail : ir@gmocloud.com または <https://ir.gmocloud.com/contact/ir/> よりお問合せください。